

科目名		授業形態	担当教員名	
小児理学療法学		講義	橋本 栄二	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
正常発達を基にして、小児の運動機能発達障害を呈する代表的疾患についての講義を行う。代表的疾患として、脳性麻痺、重症心身障害児、二分脊椎、ダウン症、発達障害児、子どもの遺伝性疾患について、概念、障害像、異常発達、評価、および治療を知り、障害のある子どもについて理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 脳性麻痺の定義、分類、タイプ別発達、評価、治療について説明できる。 2. 二分脊椎、ダウン症の障害と治療について説明できる。 3. その他、運動発達遅滞、重症心身障害児について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	授業オリエンテーション 16章 療育について			
2	1～3章 運動発達、姿勢反射の発達、正常発達、認知・行動のメカニズム			
3	6章 脳性麻痺総論 定義・分類・原因			
4	7章 脳性麻痺① 痙直型四肢麻痺			
5	8章 脳性麻痺② 痙直型両麻痺			
6	9章 脳性麻痺③ 痙直型片麻痺			
7	10章 脳性麻痺④ アテトーゼ型			
8	11章 二分脊椎			
9	12章 発達障害児			
10	12章 ダウン症候群			
11	13章 子どもの遺伝性疾患			
12	14章 重症心身障害児（者）			
13	15章 子どもの呼吸障害 早産児・低出生体重児			
14	16章 運動発達障害の療育体系と療育指導			
15	その他 まとめ（脳性麻痺・二分脊椎・ダウン症候群）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	30%	講義範囲内で出題		
レポート・課題	60%	各疾患に対して、どのような特徴（課題）があるのかを説明できる。		
小テスト				
平常点	10%	授業態度、および課題の提出状況を併せて評価する		
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
シンプル理学療法学シリーズ小児理学療法学テキスト改訂第4版		細田多穂 監修	南江堂	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
最新理学療法講座小児理学療法学		新田収 編著	医歯薬出版	
自由記載				
備考				